



上中だより

～誠 実～

5月 第2号

令和元年5月21日

練馬区立上石神井中学校

校長 新村 紀 昭

Pounding the Rock

開校60周年記念運動会迫る！

運動会練習もいよいよ最後の一週間を迎えました。これまで皆さんは「本気で取り組む上中生」の姿を見せています。そこで、スポーツにちなんでバスケットボールの話をご紹介します。知っている生徒もいると思いますが、長らく低迷していた男子日本バスケットボール代表は21年ぶりに今夏、中国で開催されるワールドカップ出場を勝ち取り、44年ぶりにオリンピック東京大会の自国開催枠も与えられ、活躍が楽しみです。

さて、バスケットボールといえば、アメリカのNBAが有名ですが、このNBAにサンアントニオ・スパーズという、どちらかと言えば資金力のない小さなチームを何度も優勝させたグレック・ポポヴィッチという世界的に有名なヘッドコーチがいます。このスパーズのロッカールームに掲げられている言葉がタイトルです。直訳は「岩を叩き続ける」。ポポヴィッチコーチは、がんばってもなかなか結果が出せない選手に対して、次のような石切工の話をしたそうです。

こんなに練習したのにうまくいかないなんて、もう無理だと思った時に、私は石切工が岩石をたたくのを見に行くんだ。石切工は何回も何回も岩をたたいている。100回たたいても小さなひびさえできない。そんな時には「もう何をやっても無駄だ」「これじゃ救われない」と思うかもしれない。ところが、岩が割れる時は何の前触れもなく、突然やってくる。それは101回目に来るかもしれないのだ。そしてそれは最後の一打によって割れたのではない。その前にたたいた100回があったからこそ



運動会 全体練習の様子

そ石が割れたのだ。

石切工とは、大きな建物の土台や壁に使われる石材を、山にある大きな岩の塊から切り出す仕事をする人。ハンマーで岩を何回も叩いて岩を切り出す大変な仕事です。

今週は、いよいよ運動会当日に向けて練習も佳境に入ります。学年種目や学級対抗リレー等の団体種目、3年生を中心にやっている応援団や上中ソーラン、個人種目等々、本気を出してがんばってもなかなか調子が出なかったり、練習を積み重ねているのに息が合わなかったりして、「才能がない」とか「この組には希望はない」と思うかもしれません。特に最上級生である3年生は「こんなに自分（自分たち）はがんばっているのに、どうして…？」と腹が立つこともあるでしょう。しかし、練習を続けることで、できる日は突然やってくるのです。繰り返している時には無駄に思える努力や練習は、いつか必ず実を結ぶ時がきます。それが運動会当日であれば最高の成績が残せるかもしれません。でも、たとえ優勝ができなくても「本気」でやってきたことは自分の中に、みんなの中に何かを残すと思います。そしてこのことは、運動会に限らず、あらゆることにつながっています。25日（土）の運動会本番では、皆さんの

本気でがんばる姿、本気でがんばっている

仲間を応援する姿を楽しみにしています。

(朝礼講話より)

運動会生徒会スローガン「青空の下、鳴り響け！魂の声」 各団からのメッセージ

○赤団の決意 横田 翔 橋本杏樹

今年の運動会は3年生にとっては、中学校生活最後の運動会で、2年生にとっては先輩として初めてやる運動会、1年生にとっては中学校最初の運動会です。3学年、色々な思いがあると思いますが、3年生を筆頭がんばっていきたくと思います。また、最初のうちは1年、2年、3年と距離感がありましたが、応援練習やソーラン節の練習を通して距離感が縮まり赤団が一致団結し、皆で協力できるようになりました。

今年の赤団は勝ちにこだわりながらも、皆で協力し楽しみながら、赤団の特長である元気で明るい声で、赤団だけでなく運動会全体を盛り上げていきたくと思います。そして、一生の思い出に残る運動会にしたいです。

○本気の青团 五十嵐梨奈 久留島勇太

青团は本気と全力で応援や練習に取り組んで、汗水垂らして1年生と3年生で協力してきました。3年生は中学校最後の運動会です。女子は例年より時間がない中、積極的に朝練習などに取り組み、成功させようとしています。男子は応援などの歌で「わっしょい」など率先して声を出し、場の雰囲気をよくしています。1年生は初めての運動会で、最初は緊張してあまり声が出ませんでした。慣れてくるとかわいらしい笑顔で大きな声を出すようになりました。ソーラン節では一生懸命声を出し、腰を低く落として良くしようと本気で練習しています。毎日、少しずつ団結していく青团の本気をぜひ見てください。

○オレンジ団魂 鈴木颯菜 長谷川ちから

オレンジ団は明るく元気で、ときに真面目に一生懸命頑張る団です。最初は皆、恥ずかしがっていたりやる気がなかったりしてバラバラでしたが、3年生や体育行事委員を中心にコミュニケーションをとり、練習を重ねるごとに、団として皆の心が一つになっていきました。

オレンジ団は3年C組と2年A組の2組しかないけれど、運動会を経験している2年生だからこその移動の早さや負けん気の強さで、競技や演技を全力で頑張っていきたいです。また、人数が1学年少なくとも、どの団にも負けなくらい応援も頑張りたいです。

オレンジ団はオレンジ団らしく、最後まで明るく元気に三冠を取れるように一生懸命頑張るので、応援よろしくをお願いします。

○緑団の決意 高橋知隼 金子ヒカル

緑団は、自分たちの団を盛り上げようと日々練習しています。最初はなかなか上手くまとまりませんでした。練習を重ねるにつれて全学年が団結し、素晴らしい応援ができるようになりました。だから、団結力ではどの団にもゼッタイに負けません。運動会本番では、自分たちのもっているすべての力を出し切って、最後まで諦めず、令和元年初三冠を緑団がいただきます。

保護者・地域の皆様へ

本年度の運動会は、開校60周年の節目の運動会として、応援団ごとに全員で上中ソーランを踊ります。また、昨年度の反省を生かし保護者参観場所の拡張と、保護者と教師の会ボランティアの協力で、試行的に100M走の際、正面ゴール近くを撮影場所にいたします。場所の関係で学年毎に入替制としますので、事前配布した学年別保護者カードの提示をお願いします。また、一人でも多くの方に参観していただくため、レジャーシート等での場所取りは禁止といたします。ご協力をお願いします。それでは、午後の部に保護者参加の「綱引き」もありますので、ご家族ほか近隣の方々もお誘いいただき、ぜひ、応援にいらしてください。お待ちしております。

○自転車の利用も含めて配慮が必要な場合には、事前に副校長まで遠慮なくご相談ください。